

ビズ リボーン 地域雇用活性化推進事業
Biz-Reborn 京丹後「異業種事業開発ワークショップ」

令和 2 年 1 月 30 日

京 丹 後 市 役 所

京丹後市地域雇用促進協議会

京丹後市地域雇用促進協議会（会長：三崎政直京丹後市長）は、厚生労働省の採択を受けて令和元年 10 月から実施している「地域雇用活性化推進事業」において、京丹後市域の製造業、観光業を中心に一層の産業発展、企業成長を図ることを目的に、「Biz-Reborn 京丹後」を実施します。本事業では、異業種の交流や企業間連携による、“メイド・イン・京丹後”の新製品・新サービスの開発や雇用創出の実現を目指すこととしています。

本事業に参加する企業が新製品やサービスなどのアイデアを出し合う「異業種事業開発ワークショップ」を開催します。

「Biz-Reborn 京丹後」の概要

「魅力ある雇用」の維持や「それを担う人材」を確保するための企業の魅力向上を目的に、異業種交流を通じ、新製品・新サービス開発などの事業活動を促進する。

京丹後市の企業の強みを抽出し、素材や技術を結集して新しい高付加価値を生み出すビジネスモデル・プロダクト・サービスを創造する。

■事業展開（令和元年度～令和 3 年度）

《ニーズ調査》 令和元年度

- 市内主要企業への事業ニーズのヒアリングを行い、異業種事業開発ワークショップのテーマを設定

《異業種事業開発ワークショップ》 令和元年～令和 3 年度 ※継続実施予定

- 異業種事業開発ワークショップによるアイデアの具体化
- 企業間連携による新製品・新サービスの開発、グループ形成の促進

《伴走支援》 令和元年～令和 3 年度 ※継続実施予定

- 新商品・新サービスの開発を行う企業・グループのメンタリング、試作品作成、マーケティング、資金調達等をサポートしアイデアを実現

「異業種事業開発ワークショップ」の概要

- 事業名 Biz-Reborn 京丹後「異業種事業開発ワークショップ」
- 日時 ①令和 2 年 2 月 20 日（木）13:30～17:00
②令和 2 年 3 月 18 日（水）13:30～17:00
- 開催場所 丹後王国「食のみやこ」情報交流センター コミュニティホール
（京丹後市弥栄町鳥取 123）
- 対象 京丹後市内企業を中心に、市内企業と連携し製品・サービス開発に取り組める企業（20 社程度） 1 月 31 日（金）募集締切

- 内 容 異業種事業開発ワークショップ ※終了後に交流会を実施
講師による希望グループへのメンタリング（日程は未定）
- 講 師 システム・インテグレーション株式会社
代表取締役 多喜義彦氏
日経 BP 総研 クリーンテックラボ
上席研究員 菊池珠夫氏
- 協 力 株式会社日経 BP
- そ の 他 今年度は以上の日程で実施しますが、次年度もワークショップを継続実施する
予定（日程未定）

お問い合わせ

京丹後市地域雇用促進協議会事務局（商工観光部商工振興課内）

TEL : 0772-69-0440 FAX : 0772-72-2030

E-mail : shokoshinko@city.kyotango.lg.jp

【参考 1】厚生労働省報道資料（抜粋）

【参考 2】募集チラシ

報道関係者 各位

令和元年 8 月 30 日

【照会先】

職業安定局地域雇用対策課

課 長 上田 国土(内線 5319)

課長補佐 稲田 剛 (内線 5865)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3593)2580

今年度新たに創設した「地域雇用活性化推進事業」の 採択地域に、14 地域を決定しました

厚生労働省は、雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域などが、地域の特性を生かして「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るために創意工夫する取組を支援します。この新たに創設した「地域雇用活性化推進事業」(令和元年度開始分)での採択地域に、14 地域を決定しました。

地域で効果的に「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るためには、産業構造や地理的要因といった特性を踏まえた取組が必要です。

「地域雇用活性化推進事業」では、地域独自の雇用活性化の取組を支援するため、地方公共団体の産業振興施策や、各府省の地域再生関連施策などと連携したうえで実施します。具体的には、地域の市町村や経済団体などの関係者で構成する地域雇用創造協議会が提案した事業構想の中から、雇用を通じた地域の活性化につながると認められるものをコンテスト方式で選抜し、その実施をこの地域雇用創造協議会に委託します。

令和元年度の募集は、平成 31 年 4 月 15 日から令和元年 6 月 7 日にかけて行い、外部の有識者を含む選抜・評価委員会での審査を経て、以下の 14 地域を採択しました(各採択地域の事業概要は別添参照)。採択地域では、令和元年 10 月から事業を開始する予定です。

【採択地域】

- | | | |
|---------------|---------------|------------|
| 1. 北海道南知床 4 町 | 2. 宮城県気仙沼市 | 3. 秋田県大仙市 |
| 4. 山形県酒田市 | 5. 栃木県茂木町 | 6. 栃木県大田原市 |
| 7. 滋賀県長浜市 | 8. 京都府京丹後市 | 9. 岡山県津山市 |
| 10. 愛媛県宇和島市 | 11. 高知県高知市 | 12. 福岡県飯塚市 |
| 13. 宮崎県延岡市 | 14. 鹿児島県薩摩川内市 | |

※地域の雇用創出目標数などの詳細は別添をご覧ください。

【別添 1】地域雇用活性化推進事業(令和元年度開始分)採択地域一覧および事業概要

【別添 2】地域雇用活性化推進事業の概要

[参 考]「地域雇用活性化推進事業」ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_03839.html

地域雇用活性化推進事業(令和元年度開始分)採択地域一覧

地域名			地域分類	事業タイトル	ページ 番号
1	北海道	南知床4町 (中標津町、別海町、標津町、羅臼町)	過疎等地域	日本最東部4地域で取組む地方創生への挑戦 ～自然・人・産業・観光資源を再認識 4町連携の雇用創造プロジェクト～	3頁
2	宮城県	気仙沼市	過疎等地域	人材の還流を創り、地域で人を育てる気仙沼市雇用魅力化プロジェクト	4頁
3	秋田県	大仙市	過疎等地域	夢が叶う大仙市雇用創出プロジェクト ～花火のまちでワクワクライフ！～	5頁
4	山形県	酒田市	過疎等地域	女性活躍と企業とのアライアンスで生き残る酒田雇用創造プロジェクト	6頁
5	栃木県	茂木町	雇用機会 不足地域	茂木町でキ・セ・キの出会い ～魅力ある雇用と魅力ある人材のマッチングのために～	7頁
6	栃木県	大田原市	雇用機会 不足地域	知恵と愛のある協働互敬のまち おおたわら(笑)に来よう(雇用)プロジェクト ～魅力ある雇用創出と定着を目指して～	8頁
7	滋賀県	長浜市	過疎等地域	多様な働き方・関わり方が選べるまち ～選ばれる長浜へ～	9頁
8	京都府	京丹後市	過疎等地域	多様な人材が輝く”ものづくり”と”観光”のまちづくりプロジェクト	10頁
9	岡山県	津山市	過疎等地域	津山キラリ☆付加価値創造による魅力的な雇用創出プロジェクト	11頁
10	愛媛県	宇和島市	過疎等地域	復興から採用先進地域へ！宇和島市雇用拡大プロジェクト	12頁
11	高知県	高知市	過疎等地域	『えいぞね、こうち！』 地域資源の好循環が持続可能な未来を創る！魅力ある雇用活性化推進事業	13頁
12	福岡県	飯塚市	過疎等地域	共に創り、未来へつなぐ グローバル社会で輝く雇用創造プロジェクト	14頁
13	宮崎県	延岡市	過疎等地域	企業と市民が挑戦し成長するまち 延岡雇用創出プロジェクト	15頁
14	鹿児島県	薩摩川内市	過疎等地域	地域NEXT雇用創造プロジェクト ～ジモトシゴト幸福作戦～	16頁

京都府京丹後市《過疎等地域》

《京丹後市》



事業 タイトル				
多様な人材が輝く"ものづくり"と"観光"のまちづくりプロジェクト				
人口 (※1)	55,944人	人口減少率(※2)	6.19%	高齢化率 (※1)
				34.94%

※1：H30.1.1時点

※2：（H25.3.31の人口－H30.1.1の人口）／H25.3.31の人口。なお、全国平均は0.52%

地域の現状・課題

- ・有効求人倍率はH26年6月以降1.0倍を超える状況が続いているものの大規模な就業機会提供力のある産業が少なく、雇用のミスマッチが大きい中、若年者の人口流出が続いている。
- ・基幹産業の機械金属業においては、深刻な人手不足、伝統産業である繊維業においては、担い手育成や後継者の獲得といった事業を承継する人材確保が急務、観光業においては、企業のPR力の強化や外国人旅行者に対応できる人材育成が必要である。
- ・市内には、大学、専門学校がないため8割を超える高校生が市外へ進学し、就職の際は、大学近辺や東京、大阪をはじめとする主要都市の企業へ就職するケースが多い。

事業の全体像

地域の基幹産業である機械金属業、伝統産業である繊維業、地域の特性を生かした観光業において人材不足、後継者不在といった状況が続いているため、製造業分野（機械金属、繊維）、観光業分野を重点分野に設定。

商工会、業界団体、金融機関等地域の関係機関との連携のもと、地域産業の魅力向上を目的に販路開拓、商品開発、多様な人材雇用、業務効率化等を行うための講習会を実施する。

また、地域内企業に求められる人材を育成する講習会を実施するとともに、大学進学・就職で市外へ出ている当市出身者やUIJターン希望者へ企業の採用情報を伝えるため、採用担当者の情報発信スキルの取得講習会や面接会等を実施し企業と求職者のマッチングを図る。

企業向け

A 事業所の魅力向上、事業拡大の取組

【重点雇用創出分野】

- 製造業（機械金属、繊維）分野、観光業分野
- 市内企業の連携を進めるためのニーズ調査
- 高付加価値を生む異業種交流セミナー、交流会、試作ワークショップ
- ダイバーシティ人材の雇用講習会、体制整備
- ICT、IoTを活用した業務の効率化、生産性向上講習会
- 採用担当者向けスキルアップ講習会

《伴走型支援》

- 高付加価値製品・サービス展開についての伴走型支援及び好事例・ノウハウの地域内企業への展開

具体的な取組内容

マッチング！

C 就職促進の取組

- 情報チャネル（HP、SNS等）
- 合同就職セミナー、面接会
- UIJターン面接会、就労体験等
- 企業説明会等

求職者向け

B 人材育成の取組

【重点求職者層】

- UIJターン求職者、高齢者、女性 等

- 業務に必要なスキル講習会

雇用創出（目標数(3年度計)）：120人

《目的》

雇用機会が不足している地域や過疎化が進んでいる地域等による、地域の特性を生かした「魅力ある雇用」や「それを担当人材」の維持・確保を図るための創意工夫ある取組を支援する

【提案可能地域】

I. 雇用機会不足地域（次の①、②いずれかに該当する地域）

① 最近3年間（平均）又は最近1年間（平均）の地域の有効求人倍率が全国平均（1）を超える場合には1.00、0.67未満である場合には0.67以下であること

② 最近3年間（平均）又は最近1年間（平均）の地域の有効求人倍率が1未満であって、最近5年間で人口が全国平均以上に減少していること

II. 過疎等地域

過疎地域自立促進特別措置法（平成12年3月31日法律第15号）による過疎地域や重大な災害の被害を受けた地域として厚生労働大臣が別途定める地域

【事業規模（委託費上限）】

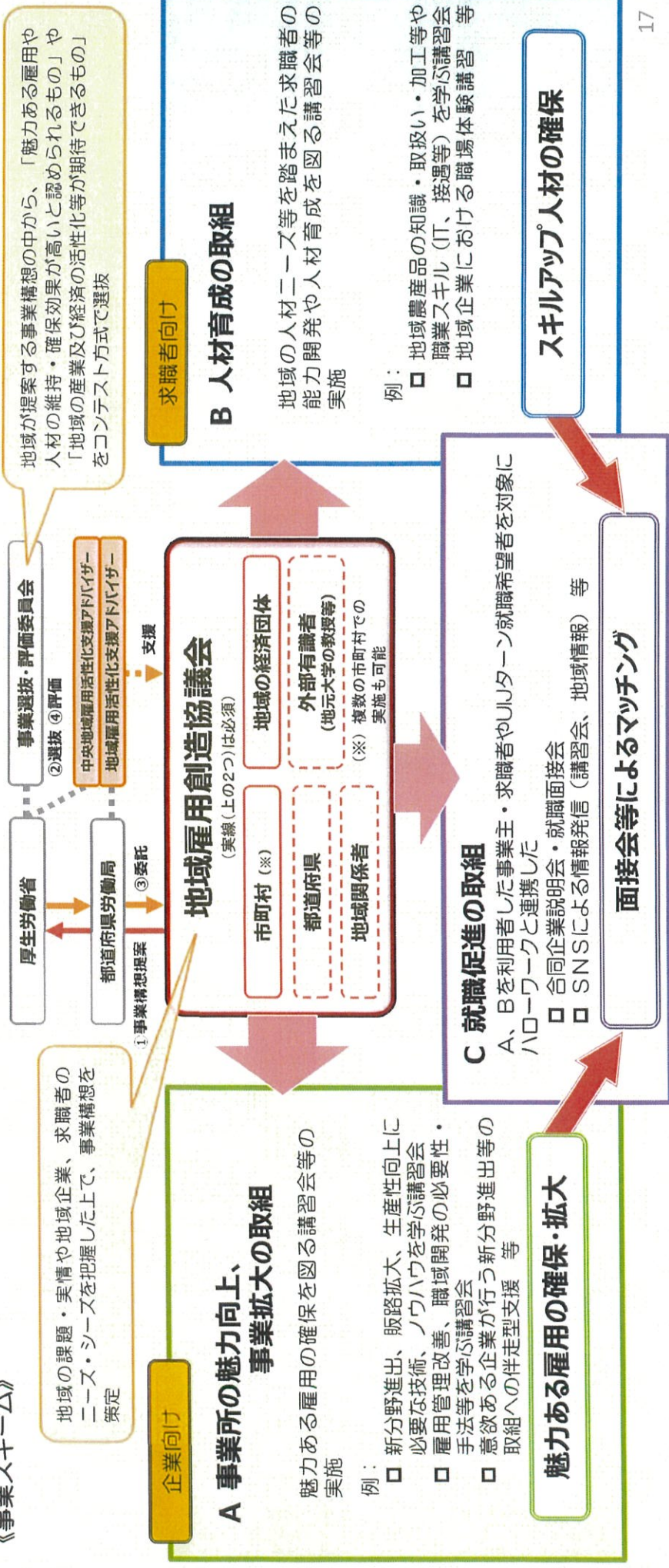
各年度4千万円

複数の市区町村で連携して実施する場合、1地域当たり2千万円/年を加算（加算上限1億円/年）

【実施期間】

3年度以内

《事業スキーム》



企業と連携して、新しい事業・商品・サービス・仕組みを考える

Biz-Reborn 京丹後 開催!

2020年2月と3月に
丹後王国
「食のみやこ」で開催!
参加費は無料

主催：京丹後市地域雇用促進協議会
協力：株式会社日経BP

ビズラボとは…

異業種が集まり、新しい価値を創造する講座です。20年前から毎年開催し、卒業生は1000人を超えています。“開発の鉄人”多喜義彦氏の講義で開発の極意を学び、グループワークでアイデアを膨らませます。その後、交流会ではリラックスして、参加者が打ち解けあい、さらに本音で語り、新しい価値を作っていきます。

京丹後市の魅力を最大限に引き出すために、市内の異業種が集まり、アイデアを出し合い、実現する Biz-Reborn 京丹後を開催します。Biz-Reborn 京丹後は、専門性の高い各種メディアを発行する日経 BP が実践する“リアル開発会議”の手法を取り入れます。リアル開発会議とは、日経 BP が企業の開発をリアルにサポートするプログラムです。自由な発想でアイデアを出し合う「ビズラボ」から始まり、メディアの力を使って活動を紹介する「メディアミックス」、そして「ビジネスモデル」で具体的に開発をサポートし、アイデアを実現します。

その最初のステップであるビズラボに相当する異業種事業開発ワークショップを2020年2月20日と3月18日に丹後王国「食のみやこ」で開催します。20年の実績を持つビズラボのノウハウを生かした異業種連携の活動がスタートします。開発の鉄人の講義を聞くことで、開発のノウハウを身に付け、自由に意見を交わし、京丹後の新しい価値を創造します。

Biz-Reborn 京丹後は4月以降も継続いたしますが、まずは2月、3月の会にご参加いただければ幸いです。今後、異業種事業開発ワークショップで出てきたアイデアを実現したい企業には、「メディアミックス」「ビジネスモデル」に当たる伴走型支援を行います。



開催概要、お申し込み方法は裏面をご覧ください。

Biz-Reborn 京丹後 開催概要

■ 開催日

第1回 2020年2月20日(木) 13:30～17:00 オリエンテーション、グループワーク

第2回 2020年3月18日(水) 13:30～17:00 グループワーク、プレゼンテーション

※なお、本企画は2020年4月以降も継続する予定ですが、今回は上記2回の参加者を募集します。

■ テーマ

12月に京丹後市の企業を回り、基幹産業である機械金属業、伝統産業である織物業、豊富な観光資源を利用した観光業でテーマを抽出します。1月にはサイトにてテーマを公表します。詳しくは、Web サイトをご覧ください。

■ 会場

丹後王国「食のみやこ」情報交流センター（京都府京丹後市弥栄町鳥取123）

■ 応募資格

- ・第1回、第2回の両日ともに参加できること
- ・本市内外企業、団体、個人を問わず、ご応募いただけます
- ・本市内企業、団体、個人と連携し、製品・サービス開発に取り組む意欲があること
- ・応募者多数の場合は、本市内企業・在住者を優先的に選定させていただきます

■ 参加費

- ・無料。ただし、会場までの交通費、交流会参加費は各自負担
- ・開発会議の過程で必要となった試作品や試作サービス開発のための費用は自己負担

■ 応募締切 2020年1月31日(金)

■ 主催 京丹後市地域雇用促進協議会

■ 協力 株式会社日経 BP

申し込みはこちら

<https://nkbp.jp/realkaihatsu>



Biz-Reborn 京丹後には、“開発の鉄人”多喜義彦氏に講義をしていただき、開発の極意を学びながらグループに分かれてビジネスモデルを議論します。多喜氏は、1970年から開発コンサルを手掛け、これまでに手掛けたテーマは3000件を超え、約1000社の技術支援を行いました。



※この事業は京丹後市地域雇用促進協議会が厚生労働省委託事業「地域雇用活性化推進事業」の採択を受け実施するものです。